

失敗学と創造学セミナー

— 品質問題を解くヒントがここにある！失敗に学び創造性を伸ばす！ —

畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」を、創造性を伸ばすための「創造学」とともに、畑村氏と共に研究されてきた濱口哲也氏からご指導いただきます。「失敗のとらえ方と有効活用」「視点・思考の転換による『気づき』と『創造』」「技術・発想のブレークスルー」を学びたい方にお勧めのセミナーです。

対象

対象階層：一般～役員 / 対象部門：全般

特徴

- ・失敗学は、失敗に対し、視点・思考を転換することにより俯瞰的にとらえ、有効活用する方法を学べます。
- ・創造学は、要求のとらえ方と記述方法、解決案を発想する7つの法則などを通し、創造性を高める方法を学べます。
- ・実際に企業人として製品開発に携わった経験も踏まえた知識と実践、対話を重視した体験的な講義により、失敗学と創造学を効果的に習得できます。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 18:30)	2 日目 (9:00 ~ 17:00)
失敗学 ・プロローグ ・失敗学のすすめ ・問題提起「今日日本で何が起きているか」 ・リスクマネジメントのための失敗学	創造学 ・思考展開図 ・要求機能を記述する ・解決案を考える

日程・受講方法

第1回	2023年 5月16日(火)～17日(水)	ライブ配信
第2回	2023年 7月11日(火)～12日(水)	ライブ配信
第3回	2023年 10月 3日(火)～ 4日(水)	ライブ配信
第4回	2023年 11月14日(火)～15日(水)	ライブ配信
第5回	2024年 2月 1日(木)～ 2日(金)	ライブ配信

参加費

一般：53,900円／会員：46,200円 ※税込み ※お得なパッケージ料金もあります！(P.30 参照)

指導講師

濱口 哲也 氏（株）濱口企画 代表取締役

参加者の声

- 多くの失敗データの有効な活用法を見つけられる感じがする。創造学は、開発チームと接する機会の中で、考え方を活かせる。
- ものづくりの開発現場で、開発プロセスにおいて技術者がいかに知恵を出すか、仕組みとしかけがあるように思う。今回の講義により、知恵を出すしかけについてヒントを得られた。
- 失敗のとらえ方、失敗を活用することの重要性、また活用するための手法をわかりやすく解説していただいた。また受講してみたいと思う内容である。
- ロジカルシンキング等よりはるかに現実的かつ実際の、仮に同じテーマでも技術者に受け入れられやすい内容だと思う。
- 特定の部署に限らず、どこの部署でも活用できる内容だと思う。

「失敗学」と「創造学」とは

一目に見えない「思考の谷」を越えること。その先に、創造的発想につながる＜新しい領域＞があります

■ 失敗学とは

人は失敗に対して、まず「なぜそれが起きたのか」「誰が失敗したのか」という点に着目します。

しかし、単に「なぜ」「誰が」と問うだけでは、どうしても視点や思考が起きた事象から離れることができません。

そのため、失敗の「本質」をきちんと理解し、そのうえで有効な再発防止・未然防止を行うのに必要な発想にたどり着けないケースがよく見られます。

失敗に対して的確な再発防止・未然防止を進めるには、失敗に対する論理的なアプローチを通し、失敗情報を普遍的な知識へ昇華させ、起こりうる失敗の予測へと役立てることが必要です。失敗学は、論理的な思考によって＜現在の領域＞から離れ、「失敗の上位概念」を得ることで＜思考の谷＞を越え、そして＜新たな領域＞＝失敗の「真の原因追究」や「有効な未然防止」へとたどり着くための考え方です。本セミナーでは、豊富な事例を交えながら、失敗の理解や分析、本当の未然防止に至るために必要な取り組み方などをご紹介します。

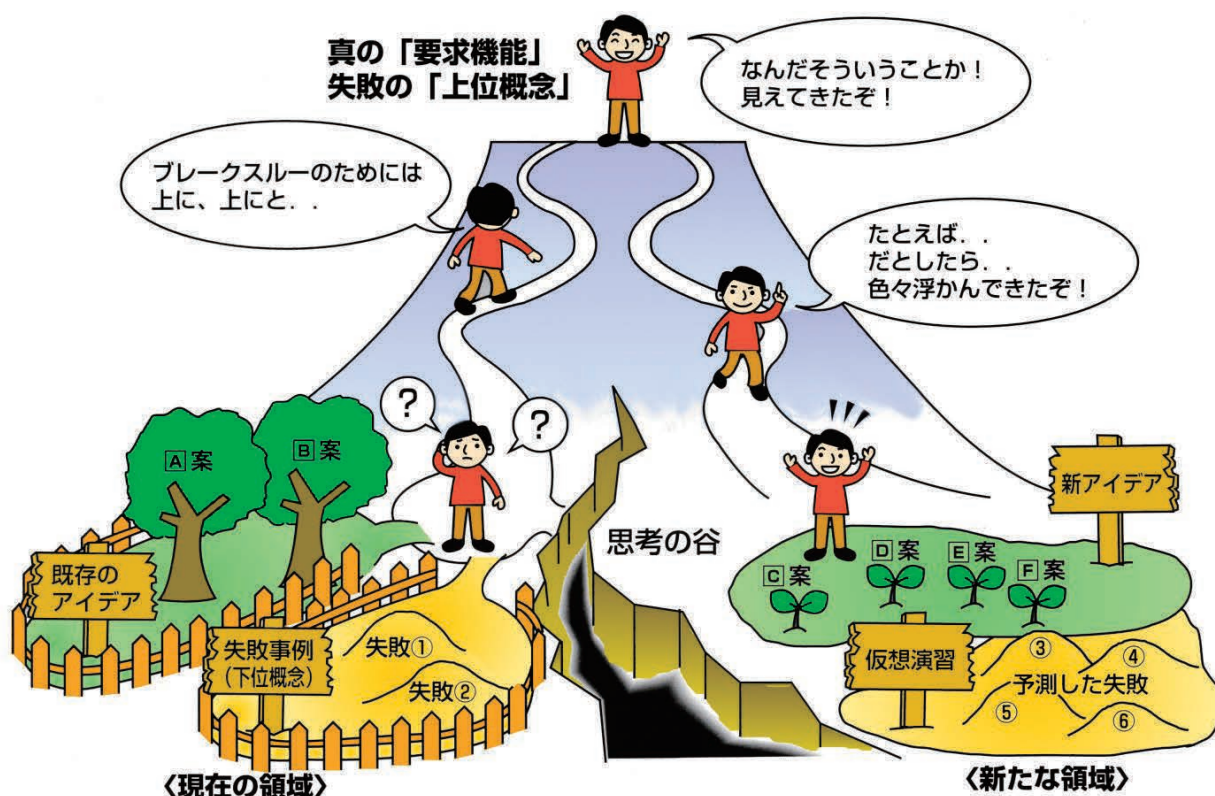
■ 創造学とは

昔から、画期的な発明や製品には、独創性を持った発想がつきものです。

しかし、構造を理解できることと、ゼロからそこまで思いつけることは別のもので、これは、発想できる可能性があっても、実際には既存概念に囚われて＜思考の谷＞を越えることができず、「新しい発想」「適切な解」へたどり着くことができないためです。

ここでも重要となるのは、いかにして＜思考の谷＞を越えて＜新しい領域＞にたどり着くか、です。

創造学は、「真の要求機能」＝「要求機能の上位概念」に着目し、＜現在の領域＞から＜思考の谷＞を越え、＜新しい領域＞＝「画期的な発想」や「最適な解決法」にたどり着く道筋を示すものです。本セミナーでは、思考展開図や逆演算発想などの具体的な方法論にもとづき、単に発想の数を稼ぐのではない、深く考えられる創造的発想法をご紹介します。



失敗学実践編セミナー

－ 今までの原因分析と対策は間違っていた！ －

様々な失敗や不具合、トラブルに対し、その解決策・未然防止策の一つとして注目されているのが、畑村洋太郎氏（東京大学名誉教授）の提唱された「失敗学」です。日科技連では、2007年に畑村氏とともに研究されてきた濱口哲也氏を講師として「失敗学と創造学セミナー」を開設しました。同コースは、失敗学の思考法が学べる講座として過去累積2,000名を超える参加者を誇る人気コースとなりました。一方、その間に、失敗学の思考法に賛同された企業・組織からの相談を受けて、濱口氏は様々な企業のトラブル事例分析の指導を実践され、指導を行う中で「多くの企業・組織において失敗分析がしっかりできていない」という実態がわかりました。そして、指導企業に対して、どのように指導したら理解してもらえるのか、どのように伝えたらより伝わるのかを常に考え、その結果を濱口氏は「失敗学実践編セミナー」にまとめました。本セミナーは、しっかりとした事例分析と、再発防止のみならず未然防止につなげられるようになりたいすべての方にお勧めのセミナーです。

対象

- ・失敗学の思考法を実践したい方、再発防止・未然防止をはかりたい方（業種・職種は不問）。
- ・「失敗学と創造学セミナー」を受講し、失敗学の思考法の基礎知識を有している方の参加がより望ましく、教育効果はより期待できます。

特徴

- ・失敗学の思考法を職場で実践するための具体的なアプローチ方法について学ぶことができます。
- ・様々な事例紹介を通じて体験的かつ具体的に学ぶことができます。

カリキュラム

1 日目 (9:30 ~ 18:00)

- ・失敗を分析するうえでの重要な基本的考え
- ・失敗学のエッセンス
- ・失敗の構造と分析方法
- ・再発防止と未然防止のフレームワーク

日程・受講方法

第1回	2023年 6月28日(水)	ライブ配信
第2回	2023年 10月24日(火)	ライブ配信
第3回	2024年 3月6日(水)	ライブ配信

参加費

一般：49,500円／会員：41,800円 ※税込み

指導講師

濱口 哲也 氏（株濱口企画 代表取締役）

お得なパッケージ料金（税込）

※パッケージ専用のお申込書にてお申込みいただけます。

セミナー名	一 般		会 員	
	正規料金	パッケージ料金	正規料金	パッケージ料金
失敗学と創造学セミナー (p.28)	53,900円	—	46,200円	—
失敗学実践編セミナー	49,500円	—	41,800円	—
パッケージ	103,400円	86,900円	88,000円	70,400円

対策反転型原因分析をやめませんか？

日本中で行われている間違っただけの原因分析の最たるものが、結果論ばかり語った「対策反転型原因分析」です。不具合事象が起こると担当者や品証部門の方が、物理現象や事実経緯を明らかにします。そして、それらがわかったらベテランほど「ここにマニュアルを作らなきゃ!」「ここにこんなチェックリストが必要だ!」と対策が先に思い浮かぶものです。その次に、それがなかったのが原因だ!と言うのです。つまり、対策を先に考え、それを反転して原因だということにしているのです。正しい方法や正しいことがわかった後、今回の失敗行動をした1ヵ月前の時点では正しい方法になっていなかった、これが原因であると言い出す始末です。結果論は、リアルタイムで行動している人、これから行動する人にとっては何の役にも立ちません。再発防止、未然防止をしたのであれば、行動している人がその時に気づける言葉でなければ役に立たないのです。

起承転結型原因分析のすすめ！

すべての失敗は想定外だから起こるのです。成功に向かって仕事をしているのに、不具合事象にゴールインしたということは、必ずどこかに「想定外(ワナ)=どんでん返し=起承転結の転」があったのです。つまり、失敗は起承転結型構造を持っているのです。この起承転結型構造をもとに「想定外(ワナ)=どんでん返し=起承転結の転」を明らかにし、想定外を想定内に持ち込み、未然防止を図る分析方法をお勧めします。

そもそも「失敗に学ぶ」を別の言葉で表現すると「人の振り見て我が振り直せ」「過去の振り見て未来の振りを直せ」ということです。

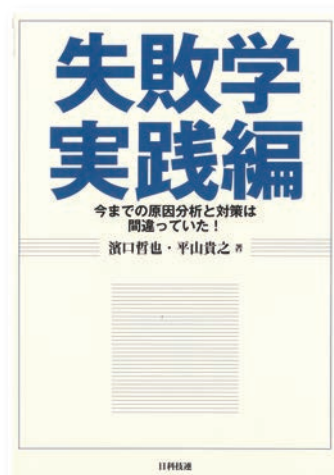
では、なぜ「失敗に学ぶ」必要があるのかといえば、それは「人類は昔から同じ失敗を繰り返してきたから」「人間は同じ過ちを繰り返す動物だから」です。

「過去の失敗と同じか似た形で次の大失敗が起こる」と相場が決まっているのです。だからこそ、失敗を未然に防ぎたいのであれば、過去の失敗から学ぶことが一番賢いのです。ここで、「同じ失敗、同じ過ち」と言うときの「同じ」とは何が「同じ」なのか。それは、「人間の考えやワナ」が同じなのです。事例の数は星の数ほどあっても、人間が陥る誤った考え、その誤った考えと不具合事象の関係(ワナ)はそれほど多くないどころか、不思議なほど共通点が多いのです。だからこそ、そのワナを考えれば想定ができて、未然防止ができるのです。

【書籍のご案内】



失敗学と創造学セミナーテキスト
(日科技連出版社)



失敗学実践編セミナーテキスト
(日科技連出版社)

- 2023年度から「失敗学トレーニングコース」を開催すべく、企画中です。
詳細は決まり次第、Webサイトにてご案内いたしますので、ぜひ参加をご検討ください。

業務効率向上のための論理的伝達力マスターセミナー

ー「失敗学」の濱口哲也氏がおくる新機軸セミナーー

仕事の中で「報告書で部下が何を言いたいのかわからなくて困った」「お客様との言葉の解釈の違いが、後でトラブルになった」というような経験はないでしょうか？ 日本語には「あいまいな」表現が多いことに加え、メール等の「顔を合わせないコミュニケーション」が増加した結果、“言いたいことが伝わらない・伝えられない”といったことが増え、それが仕事のトラブルに結びついています。本セミナーは、我々が日常業務で使っている「言葉」に改めて着目し、論理的な思考能力・論理的な伝達力を養成することで、コミュニケーションや業務の効率を向上させることを目的としています。

対象

対象階層：新入社員～役員 / 対象部門：全般

特徴

- ・つい“あたりまえ”で済まされてしまう日本語のしくみ・用法を見直し、実務に必要な要件が確実に伝達できるよう、論理的な言葉の組み立て方・伝達の仕方と、そのために必要な論理的な考え方を習得していただけます。
- ・1日で、必要な内容をコンパクトに学んでいただけます。
- ・指導講師に濱口哲也氏（「失敗学と創造学セミナー」指導講師）を迎え、「論理・理屈だけではなく、多くの場面を想定したケーススタディにより、実際の仕事に役立つ実践的なセミナー」として企画しています。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 17:30)

Lesson 0：背景と目的	ー社内のすべての文章には論理性が必要である
Lesson 1：単語	ー少しの違いが概念まで壊してしまう
Lesson 2：文	ー単語と単語の関係を正しく築く
Lesson 3：文章	ー文を論理的に接続し、意味を正しく導く
Lesson 4：論旨	ー最初から最後まで素直に読めるようにする
Lesson 5：より伝わりやすい文章を書くために	

*各講義にはケーススタディを含みます

* Lesson 4、5は Lesson 0～3をまとめた内容となるため、講義進行の関係で割愛する場合があります。

日程・受講方法

第1回	2023年 6月 2日 (金)	ライブ配信
第2回	2023年 8月 30日 (水)	ライブ配信
第3回	2023年 10月 10日 (火)	ライブ配信
第4回	2024年 3月 1日 (金)	ライブ配信

参加費

一般：38,500 円／会員：33,000 円 ※税込み

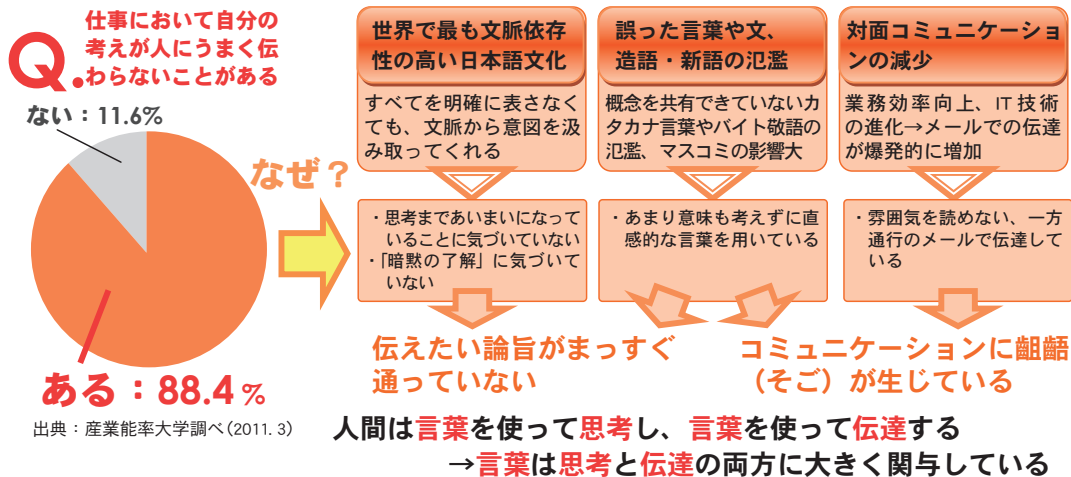
指導講師

濱口 哲也 氏 (株濱口企画 代表取締役)

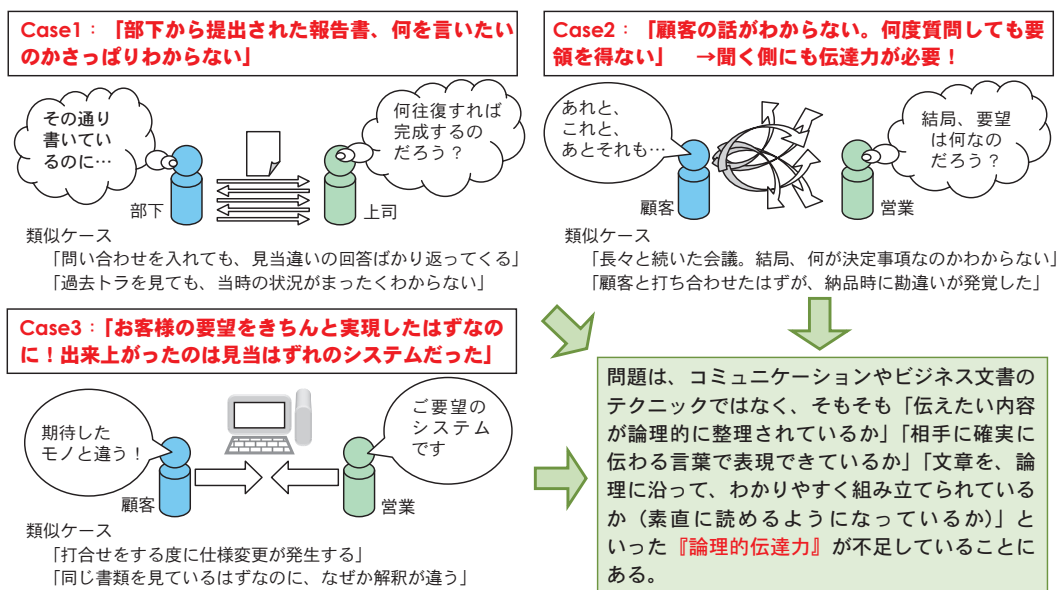
参加者の声

- いかに普段からあいまいなことを使っていたかに気づかされました。
- 報告書、指示書の「不明点」やメールでの「暗黙の了解」を考え直すきっかけになる。
- すべての部門で役立つと思う。むしろすべての部門に受講してほしい。
- 客先へのプレゼン、上司への報告で、大いに役に立つと思う。
- 若い社員に聞かせたい内容だと思った。
- いわゆる管理者層にこの考え方を持って（伝える力を身につけて）ほしい。

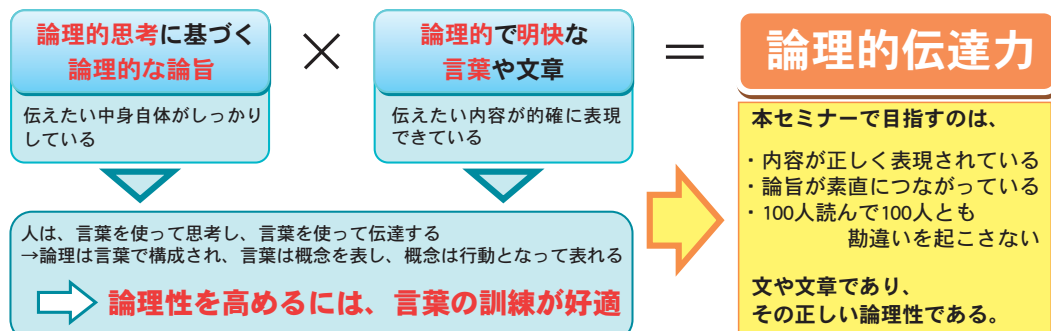
なぜ、いま“伝達力”が必要とされるのか？



たとえば、こんな経験はありませんか？



本セミナーで目指すもの



組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー

－「失敗学」の濱口 哲也 氏がリーダーにおくる新たな気づき！－

近年、リーダーシップやマネジメントが形骸化・マニュアル化し、仕事の設計も想定も創造もできない「定形型人材」が増えていると言われています。しかし、精神論ベースのリーダーシップ研修では、その「悪さ」が見えないため、根本を変えることができません。本セミナーでは、定形型人材が増えた背景と原因を論理的に解き明かし、そこからリーダーに必要なこと（考え方、行動）を3つの視点から導き出します。聞く人が納得することが、明日のリーダーの行動を変える一番の特効薬となります！

対象

対象階層：一般～部課長 / 対象部門：全般

特徴

- ・「リーダーとは斯くあるべし」から入るのではなく、リーダーシップやマネジメントについて論理的に『現状』『悪さ』『対応策』を解説します。
- ・定形型人材から脱し、真のリーダーになるための目の付け所、行動原理を、「主導者」「教育者」「上司」の視点で学んでいただけます。
- ・半日セミナーですので、お気軽にご参加いただけます。

カリキュラム

1 日目 (13:00 ~ 17:00)

- ・いま、日本で何がおきているか（リーダーシップ、マネジメントの問題点）
- ・これからのリーダーシップに求められること（3つの視点から導く行動原理）

日程・受講方法

第1回	2023年 6月21日（水）	ライブ配信
第2回	2023年 10月11日（水）	ライブ配信

参加費

一般：29,700 円／会員：24,200 円 ※税込み

指導講師

濱口 哲也 氏（株濱口企画 代表取締役）

参加者の声

- チームリーダー、PM には積極的に受講させたい。
- 自分の行動がリーダーとして適切かどうか、今後どうしていくべきかをあらためて考える機会になった。
- 事業展開の中で、あらためて業務の在り方を見直すことに活用できそう。
- 次世代に向けた人材育成をするためにどのような教育を組み入れたらいいのか参考になりました。
- 教育システムで「2名に伝承する」というのは衝撃的でしたが、やらなければならないという覚悟ができました。
- リーダーとしてチーム力の向上に悩んでいたのも、その考え方を学べた。またモチベーションも上がった。

セミナーのねらい

リーダー・マネージャーが自分たちの現状を踏まえ、問題を認識したうえで、自社に貢献していくために必要な3つの視点（主導者・教育者・上司）から、必要な考え方・行動を実感することができます。

<貴社のマネジメント、こんな状況ではありませんか？>

- ・とにかく忙しくて余裕がない
- ・部下のトラブル処理ばかりしている
- ・ずっと同じ仕事をしていて変化がない
- ・後継が育たない。そこまで手が回らない
- ・システム化しても問題が解決しない
- ・組織としてもっと力を発揮させたい
- ・部下がチャレンジしない

<精神論偏重型マネージャー研修 「マネージャーたるもの斯くあるべし！」>

- ・自分の身に置き換えて考えにくい
- ・理屈が分からず、いまひとつ納得しきれない
- ・具体的に何をどうすればいいかわからない
- ・理想論すぎて現実味がない

<理論偏重型マネージャー研修 「最新のマネジメント理論によれば…」>

- ・そんな難しいこと、日常的に覚えていないし、使うこともできない
- ・管理指標を見るだけで手一杯になってしまう
- ・自分の仕事にうまく応用できない
- ・実際に効果が出ているのかよくわからない

研修を受けたけど、
実践につながらない…

<本セミナーで学べること>

- ①マネジメントの現状と悪さ
 - ・いま、日本企業で何が起きているのか（リーダーシップとマネジメントの現状）
 - ・そこに見られる問題（悪さ）と影響、その原因（考え方・行動）
- ②対抗策
 - ・求められる3つの視点とねらい・効果
 - ・3つの視点のもと、日常で実践できる考え方・行動

濱口 哲也 氏が、リーダーに起きていること、真に求められることを“論理的”に語ります！

< 問題点 >

マニュアル依存

「うまくいく」と「まずくやらない」は、
実はちがう

コンピュータ管理

コンピュータに
できないことこそ人間の出番

世代交代の落とし穴

30年の世代交代で
伝承されるもの、されないもの

< 求められること >

主導者

仕事をつくり、導いていくのに
必要なこと

教育者

会社の未来のために人を作る
 $2^{10}=1024$

上司

上司と部下、手柄と責任
仕事の設計と管理

真のリーダーシップは人を育て、組織力を向上させます！

フォーラム・シンポジウム

－ 最新の事例や研究成果、第一人者の講演などをお聴きいただけます －

品質管理シンポジウム



1965 年に開設後、毎年 6 月と 12 月に開催しています。品質管理、TQM の今後の発展のため、毎回時宜を得たテーマを設定しています。品質経営の次代の指針、最新情報が入手できます。

■シンポジウム概要

日 程：第 115 回 2023 年 6 月 1 日～3 日（土）／第 116 回 2023 年 11 月 30 日～12 月 2 日（土）
会 場：大磯プリンスホテル（集合）＆ライブ配信

■過去情報：<http://www.juse.or.jp/qcs/>

■お問合せ：品質経営創造センター TEL：03-5378-1215 E-mail：tqmcre@juse.or.jp

第 15 回知識構造化シンポジウム

2008 年に開設、知識構造化、SSM[※]（ストレス・ストレングスモデル）を中心に、不具合の再発防止や未然防止、製品安全に役立つ最新情報を提供いたします。

※ SSM：トラブルの経験・ノウハウを広くトラブル未然防止に活用できるように、知識を構造化するモデルです。

■シンポジウム概要

日 程：2023 年 9 月 15 日（金）
会 場：ライブ配信
参加費：4,950 円 ※税込み

■第 14 回の概要：「多様な業務への活用に役立つ知識の再利用性を考える」

基調講演(1 件)／事例講演(2 件)／特別解説／総合討論

■過去情報：

<http://www.juse.or.jp/src/seminar/voice/24/118>

■お問合せ：品質経営・SQiP グループ TEL：03-5378-1213 E-mail：tqmsemi@juse.or.jp

クオリティフォーラム 2023（品質経営総合大会）



2000 年に「クオリティフォーラム」として従来の大会を総合して第 1 回を開催しました。それ以降“品質経営のベストプラクティスをベンチマークできる場”として、製造業・非製造業・サービス業の方々が対象に時流にあった招待講演、研究事例発表を行っています。

■フォーラム概要

日 程：2023 年 10 月 25 日（水）～26 日（木）
※事業所見学：2023 年 10 月 27 日（金）
会 場：ライブ配信
参加費：
2日券 52,800円（一般）／46,200円（会員） ※税込み
*早割割引、1 日券あり
*事業所見学別料金

■昨年の概要

クオリティフォーラム 2022
☐特別講演
☐企画 session
☐一般事例発表
☐日本品質奨励賞受賞報告講演会
☐事業所見学会

■クオリティフォーラム アーカイブ

「クオリティフォーラムに参加できなかった」「参加したが当該講演を聴講できなかった」という方々のために“映像アーカイブ”として講演を有償で視聴することができます。

詳細：https://www.juse.jp/quality_forum/video_archive/

■過去情報：http://www.juse.or.jp/quality_forum/

■お問合せ：品質経営創造センター TEL：03-5378-1215 E-mail：tqmcre@juse.or.jp

ソフトウェア品質シンポジウム 2023

ソフトウェア品質シンポジウムは、ソフトウェア品質に関わる全ての方々が一堂に会し、現場で役立つ実践的な技術や経験、ノウハウ、研究成果を発表し意見交換を行う場です。開発者、マネージャー、ユーザー企業、QA 担当者、研究者といった様々な立場、エンタープライズ系や製造業・ものづくり企業のソフトウェア部門組込み系といった様々なドメインの方々がオープンな立場で品質向上のために真摯に議論し、相互研鑽や人的交流を行います。

■シンポジウム概要

日 程：2023 年 9 月 7 日（木）～8 日（金）
※併設チュートリアル：2023 年 9 月 6 日（水）
会 場：ライブ配信

■プログラム概要

基調講演、特別講演、経験論文発表、経験事例発表、企画セッション、パネルディスカッション等

■お問合せ：品質経営・SQiP グループ TEL：03-5378-9813 E-mail：sqip-sympo@juse.or.jp

～ Web ページからお申込みいただけます～

- 日科技連ホームページ <http://www.juse.or.jp/>
- セミナーサイト <http://www.juse.or.jp/src/seminar/>
- セミナー・事業検索からキーワード検索またはカテゴリーを選択し、ご希望のセミナーをお選びください。
- 各セミナー詳細ページの日程表から、申込みフォームへアクセスできます。
- 申込みフォームからお申込み後、セミナー受付より自動返信メールが届きます。
- Web からお申込みが難しい場合は、下記項目を受付宛へ E-mail にてお送りください。



メールタイトル：日科技連セミナー申込み / 受付 E-mail : regist@juse.or.jp

- ① セミナー名：第●回 ●●●●●セミナー
- ② 開催初日：●月●日
- ③ 連絡担当者の氏名、所属、役職と連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ④ 参加者名（ふりがな）
- ⑤ 参加者の会社名、所属、役職
- ⑥ 参加者の連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ⑦ 【ライブ配信セミナーのみ】参加者への講義資料の配送先（会社またはご自宅）

～お申込み受付から受講まで～

- 開催の約1ヵ月～3週間前に「開催のご案内」などの必要書類を連絡担当者様へ送付いたします。
- お支払いについての詳細は、請求書に記載しておりますが、原則として請求書発行後2ヵ月以内に請求書に記載の指定口座へお振込みください。
- ライブ配信セミナーの講義資料は、開催の7営業日前に配送いたします。
- セミナーによっては同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- キャンセルと振替受講の取り扱いについては、p.42 をご参照ください。
- お申込み、参加にあたっての注意事項は web ページにてご案内しております。
<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/jusesanka>

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL : 03-5378-1222 E-mail : regist@juse.or.jp

※平日 9 : 00 ～ 17 : 00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話が繋がらない場合は E-mail でご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季／年末年始休暇などの連絡は受付していません。

キャンセルと振替受講の取り扱いについて

キャンセルの取り扱いについて

- セミナーをお申込みいただいた後、止むを得ない事由により参加者の都合が悪くなった場合には、恐縮でございますが、できるだけ代理の方のご参加をお願い申し上げます（セミナー開催途中の参加者の変更は不可）。
- セミナーの参加をキャンセルする場合には、セミナー受付に電話、Eメールにて事前にご連絡をお願いします。なお、その際、ご連絡の日にちにより、次のキャンセル料をご負担いただきます。
- 宿泊や班別研究会などを伴う一部のセミナーについては、下記とは異なるキャンセル料を設定しておりますのでご注意ください。

キャンセル料

- ・セミナー開催日の7営業日前～1営業日前の17:00までのキャンセル：参加費の50%
- ・セミナー開催日の1営業日前の17:00以降のキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合：参加費の100%

* ○営業日前とは、土日祝祭日・日科技連休業日を除いた日数のことです。

テキスト事前送付のセミナーのキャンセルについて

- テキストを事前送付するセミナーで、すでに開催通知、テキストがお手元に届いている場合のキャンセルについて、上記のキャンセル料が発生する場合は、テキスト費用はキャンセル料に含むものといたします（テキスト返却は不要です）。
- キャンセル料が発生しない期間のキャンセルの場合は、お手元に届いているテキストをご返送ください（送料はご負担ください）。なお、テキストに書き込み、折れ、汚れ等がある場合にはテキストの実費をご負担いただきます。

セミナーの振替受講について

- お申込みいただいたセミナーに参加者が受講できず、また、代理の方がいない場合は、年度内に開催される同じセミナーに「振替受講」ができます（複数回開催のセミナーのみ）。
- 「振替受講」は、1度目は無料ですが、2度目以降は通常の参加費に加え、参加費の10%を振替受講手数料として申し受けます。
- 振替受講を希望される場合には、できるだけお早目にセミナー受付に電話、Eメールにてご連絡をお願いします。

(2023年1月現在)

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL: 03-5378-1222 E-mail: regist@juse.or.jp

※平日 9:00～17:00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話が繋がらない場合は E-mail でご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季／年末年始休暇などの連絡は受付していません。

「ライブ配信セミナー」参加に関してのお願い

お申込みの期限

ライブ配信セミナーへのお申し込みは開催日の4営業日前までをお願いします。

参加者変更は、セミナー開催の3営業日前までの対応となります。

受講（視聴）環境について

- (1) ライブ配信セミナーをご受講いただくために必要な視聴環境（パソコン等のハードウェア、ブラウザ等のソフトウェア、通信環境等）をご用意ください。必要なシステム環境基準を満たしていない場合、セミナーの受講ができない可能性があります。各コースのセミナー詳細ページ（web サイト）、開催のご案内で詳細をご確認のうえ、予め、ご準備いただくようお願いいたします。また、受講 URL、ID、パスワードの管理は受講者が責任をもって管理してください。
- (2) 開催日の7営業日前までに必ず視聴テストを行ってください。万が一、事前の視聴テストにおいて何等かの理由により視聴ができなかった場合、キャンセル料は頂戴いたしません。

ライブ配信セミナーの受講にあたって

(1) 著作権、商標権、特許権等の知的財産権

受講者は、オンラインライブ配信を通じて提供されるすべての文章、画像、映像、音声、プログラムなどのセミナーコンテンツの著作権などの知的財産権が、当財団に帰属していることを承諾し、これを侵害しないことを誓約するものとします。有償無償問わず、セミナーコンテンツを録画、録音、転載することは法律で禁じられています。

(2) 禁止行為

- 1) 複数名でセミナー動画を視聴すること（動画をプロジェクター等に投影して複数名で視聴することも固くお断りいたします）
- 2) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で転載すること
- 3) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で第三者に貸与又は譲渡すること
- 4) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で改変もしくは要約すること
- 5) 当財団又はセミナー講師、その他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為（かかる侵害を直接又は間接に惹起する行為を含みます）
- 6) コンピュータウイルス、その他の有害なコンピュータプログラムを含む情報を送信、インストール、アップロード、その他の方法により使用する行為
- 7) 当財団が許諾する方法以外の方法で、動画・コンテンツをダウンロード、キャプチャー、保存する行為
- 8) セミナーに関するソフトウェア、テキスト、画像、動画、その他コンテンツ に対し、複製、修正、翻案する行為
- 9) その他、当財団が不適切と判断する行為

(3) オンラインシステムの運用・中断・停止

当財団は、オンラインシステムを良好な状態でご利用いただくために、事前に受講者に通知することなく、システムの全部または一部を中断することがあります。

- ・定期保守や緊急保守を行う場合
- ・システムに負荷が集中した場合
- ・システムの運営に支障が生じると当財団が判断した場合
- ・受講者のセキュリティを確保する必要性が生じた場合
- ・通信設備の故障、停電などの第三者の責によりオンラインシステムが提供できなくなった場合
- ・天災地変などの不可抗力によりオンラインシステムの提供ができなくなった場合
- ・その他、オンラインシステムの提供ができない事由が発生した場合

本項事由に基づき当財団が行った措置により、受講者に生じた損害についての責任を負いかねます。

(4) 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、公官庁の指示等、当財団が管理できない事由により、研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当財団では責任を負いかねます。

通信回線、コンピュータの障害によるオンラインシステムの中断、遅滞および中止等により、受講者に生じた障害については、当財団は一切の責任を負わないものとします。

当財団は、オンラインシステムで提供する情報の完全性・正確性を保証いたしません。

JUSE seminar guide 2023

TQM

<https://www.juse.or.jp/>

一般財団法人 日本科学技術連盟
品質経営推進センター 品質経営セミナー担当
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL : 03-5378-1213 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp

*本ガイドは日科技連ホームページから PDF をダウンロードできます。